

平成30年度 結果の分析及び今後の改善策(案)

(中間・最終)

吉浦中学校区 校番 15 学校名 吉浦中学校

重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(1年間) 経営目標	l 結果の分析 (結果と課題をこう考えます)	m 今後の改善策(案) (こう改善します(案))
***	生徒が主体的に活動し、学習意欲が高まる授業づくりについて工夫改善をすすめ、学力を向上させる	標準学力調査における平均正答率・通過率を向上させる 授業のユニバーサルデザイン化を推進する	○第3学年は全国学力学習状況調査において、国語、数学、理科の全教科で目標である全国平均を2.9～5.9ポイント上回った。第2学年は標準学力調査において、全国平均との差は国語が-3.0、数学が+2.1、英語が+0.2ポイントであった。第1学年は標準学力調査において、全国平均との差は国語が-0.2、数学が-1.5ポイントであった。第2学年の国語、第1学年の国語、数学において学力を向上させることが課題であるとする。 ○アンケートにおいて、ペア・グループ学習が実施されているので、理解や自分の考えが深まっていると思う生徒の割合が、目標値の80%に対し、達成値は94%と14ポイント上回った。これは、教員が授業に於いて、それぞれにユニバーサルデザイン化、その中でも「共有化」に取り組んだ成果と考える。	○課題がある領域、問題について、課題分析を丁寧に行い、改善ポイントを明確にして、計画的継続的に改善ポイントを取り入れた授業を行う。また、改善が図られたかの検証とそれを受けてのさらなる取組を行い、確実な定着を図っていく。 ○通過率30%未満の生徒等に対して、授業外(長期休業期間や試験期間等)での個別指導を行ったり、授業では、ペア・グループ活等学習を活用したりするなどの指導の工夫を行う。 ○各教員が行っているユニバーサルデザイン化の実践の効果的な取組について全教職員のものとなるように、情報の共有化を図る。
**	道徳教育を充実させ、道徳的実践力を高める	自尊感情、自己肯定感を向上させる 自己指導能力を向上させる 地域のよさに気づかせ、郷土愛を育む	○アンケートにおいて、自分には良いところがあると思う生徒の割合が、目標値の80%に対して、達成値は79%と1ポイント下回った。昨年度目標値であった75%は上回っている状況であるが、自尊感情、自己肯定感を十分に向上させることに至っていない。 ○返事・掃除・あいさつ・時間・身だしなみに係るアンケートにおいて、全項目で達成値はそれぞれの目標値を1～9ポイント上回った。日々の生活における、教職員の指導と評価、生徒会を中心とした生徒の自発的な取組の成果であるとする。 ○自分の郷土のよさに気づき、その郷土に貢献したいと考える生徒の割合が、目標値の80%に対して、85%と5ポイント上回った。これは、本年度「道徳教育改善・充実」総合対策事業の指定を受け、道徳科、総合的な学習の時間、教科等の教育活動において、横断的かつ系統的に郷土愛の育成に取り組んだ成果と考える。	○生徒の様子をしっかりと把握し、生徒への直接の感謝・評価の言葉かけ、学校、学年、学級の各通信とHPを活用した感謝・評価の言葉かけ等を積極的に進めて行く。また、表彰等も効果的に活用していく。 ○家庭、地域との連携を深め、生徒のがんばり・良さを伝え、保護者・地域からも褒めてもらうことに取り組んでいく。 ○きちんとできている生徒、がんばっている生徒を認める取組を継続して実施する。大きな声で返事ができることについて、特に力を入れて引き続き指導していく。 ○カリキュラムマップを基に、現在取り組んでいる全教育活動における郷土愛を育む取組を引き続き行う。また、実施後の振り返りを大切にし、さらなる改善を図っていく。
*	基本的な生活習慣の確立や健康増進、体力の向上を図る	運動意欲を高め、運動能力・体力の向上を図る 基本的な生活習慣を確立させ、健康の増進を図る	○新体力テストの立ち幅跳び・反復横跳びにおいて、第3学年男子女子及び第2学年男子は県平均を上回ったが、第1学年男子女子及び第2学年女子は県平均を下回る種目がある。特に第1学年では、男子が反復横跳びで達成度が90%を下回っているため、体力向上の取組を図る必要がある。 ○アンケートにおいて、規則正しい生活を送っていると感じている生徒の割合が、目標値の85%に対して、達成値は73%と1.9ポイント低い。「時間の三点固定」をキーワードとして、基本的な生活習慣を確立させるための指導を組織的に取り組む必要がある	○体育の授業、部活動において、保健体育科教員の立てた取組案をもとに、計画的・組織的な取組を行う。 ○「時間の三点固定」について、定期的に、また機会あるごとに生徒に指導していく。指導においては、振り返りを大切にし生活の見直しに取り組ませる。また、規則正しい生活ができていない生徒、がんばっている生徒を認める取組を継続して実施する。

